

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 17 年第 1 週(1 月第 1 週 1/3～1/9)

平成 17 年 1 月報合併号

(作成) 愛知県感染症情報センター

連絡先: 052-910-5619 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

トピックス

感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症)

平成 17 年の第一週(平成 17 年 1 月 3 日～9 日)の愛知県感染症情報・週報をお届けします。

新しい年に入るや否や広島県の老人施設内でのノロウイルス感染症^{*1}の流行と死亡者の発生が報じられ、その後次々と全国から主として老人施設内での感染と少なからずの死亡者... ノロウイルス感染症が直接に死因であるか否かは未確定... が報告され、公衆衛生分野だけでなく、新たな社会問題へと発展しそうな勢いです。

ノロウイルス感染症は感染症法で第五類に指定されている「感染性胃腸炎」^{*2}の主な原因病原体の一つで、冬に限って言うと、その主要な病原体と考えられており、愛知県でも県内 182 箇所の小児科定点医療機関から「感染性胃腸炎」としての患者数が報告されています。ノロウイルスは世界中に広く存在するウイルスで、一般的には症状は軽いもののその感染力は非常に強く、アメリカ合衆国ではノロウイルスによる胃腸炎患者が何と毎年 2,300 万人も発生していると CDC(米・疾病対策局)は推定しています。また、イギリスでは 2002 年以降老人施設や医療機関内での発生が相次ぎ、一部の病院ではノロウイルス感染症の流行により病棟閉鎖・新規患者の入院延期などの処置が取られるなど、まさに社会問題化しています。このような施設内流行の原因として、ノロウイルスによる感染は食中毒の原因ウイルスという概念だけではなく、人から人への感染が発生する感染症として捕え、感染防止及び流行拡大に対処する必要性が諸外国ではここ 2～3 年前から唱えられています。

健康な成人では 2～3 日もすれば後遺症なく自然に治ってしまう嘔吐・下痢症ではありますが、今回の広島県での事例からも分るように、高齢者、それに、乳幼児や免疫不全の状態にある人達にとっては、単なる「嘔吐・下痢症」では済まされない重篤な状況と、場合によっては最悪の結果＝死を招く事態も十分に考えられます。したがって一般的な食中毒対策(特に二枚貝類の加熱調理など)だけでなく、吐物や汚染された環境からの感染を防ぐためにも、十分な手洗いの励行が非常に重要かつ効果的であることを再認識し、ぜひ今から実行に移してください。

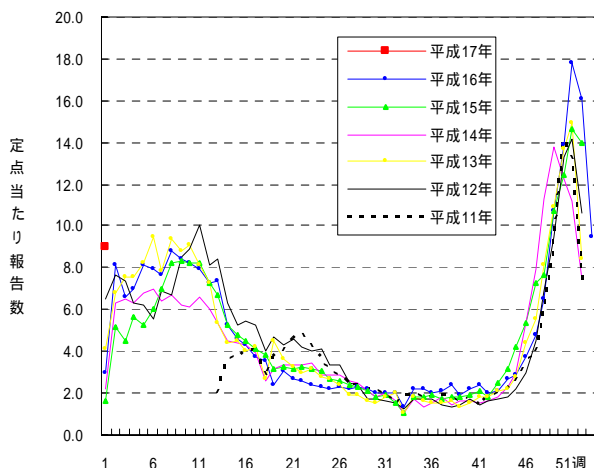
(愛知県衛生研究所長)

* 1 ノロウイルス感染症: <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/nlv.html>

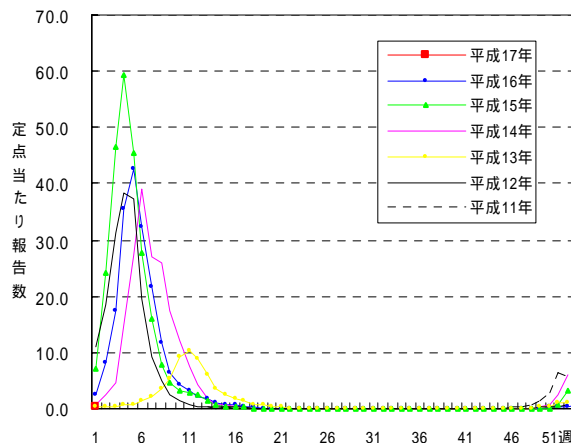
* 2 感染性胃腸炎: <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ichouen.html>

流行状況

感染性胃腸炎



インフルエンザ



愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

12 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

		平成 16 年 12 月			平成 16 年度 累 計 (愛知県)	備考 (12 月)
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県		
一類 感染症						発生報告無し
二類 感染症	コ レ ラ				6 [1]	
	細 菌 性 赤 痢	1		1	22	
	腸 チ フ ス				6	
	パ ラ チ フ ス	1		1	8	
三類 感染症	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	1		1	158 (35)	O157 1 件
四類 感染症	A 型 肝 炎	1		1	9	
	オ ウ ム 病				1	
	Q 熱				2	
	つ つ が 虫 病				2	
	デ ン グ 熱				4	
	マ ラ リ ア				2	
	レ ジ オ ネ ラ 症	3		3	13	
五類 感染症	ア メ ー バ 赤 痢	1		1	34	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く 。)	2	1	3	6	B 型 1 件 C 型 2 件
	急 性 脳 炎	1		1	6	
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病		1	1	4	孤発性 1 件
	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症				2	
	後天性免疫不全症候群	2	3	5	57	A I D S 1 件 無症候性 4 件
	ジ ア ル ジ ア 症				1	
	髄 膜 炎 菌 性 髄 膜 炎				1	
	梅 毒	2	1	3	28	早期顕症 3 件
	ハ ン コ マ イ シ ャ 耐 性 腸 球 菌 感 染 症				1	

() 内は無症状病原体保有者

[] 内は疑似症者の再掲

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 16 年 12 月			平成 16 年 11 月		
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	129	28	157	129	27	156
2	性器ヘルペスウイルス感染症	27	5	32	30	3	33
3	尖 形 コ ン ジ ロ ー マ	26	9	35	36	14	50
4	淋 菌 感 染 症	70	38	108	87	30	117
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	84	9	93	60	11	71
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						
7	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症						

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症 : 51、基幹 : 13 医療機関) で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

【対象疾病】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で定める86疾病

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

感染性腸炎がまだ少しあります。

インフルエンザはまだ1例もありません。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

病原性大腸菌O6 13歳男

病原性大腸菌O18 6歳女

病原性大腸菌O25 6歳女

マイコプラズマ肺炎が多い。アデノウイルス、RSウイルスも多くなっています。

インフルエンザは確認していません。

【尾西市 城後小児科】

江南市の33歳男がA型インフルエンザで来院されました。妻子はワクチン接種していたため2日間で解熱したとのことです。

B型インフルエンザは冬休みのあと見られていません。

胃腸炎の流行は下火になってきましたが、中高生での流行が見られます。

【犬山市 武内医院】

今週はムンプスが目立ちます。

インフルエンザはありません。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

感染性胃腸炎の流行が続いています。

インフルエンザ様疾患はほとんどみられていません。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

41歳女 マイコプラズマ肺炎

嘔吐下痢を伴った胃腸かぜが未だ続いて居ます。

【春日町 丹羽医院】

インフルエンザは、東浦町の実家でインフルエンザ患者と接触した母子例です。

(A BクイックにてB (+))

【立田村 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が多い。

水痘も多い。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザはまだみられておりません。

マイコプラズマ肺炎が成人、小児ともに少し目立ちます。

年末から流行していた嘔吐・下痢症状の症例は少なくなりました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

胃腸炎続いていますが、入院例は少ないです。

水痘まだ続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

胃腸カゼ多数つづいています。

ムンプス、水痘少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

水痘 溶連菌感染症がみられました。

【春日井市 かちがわ北病院】
成人の感染性胃腸炎がめだちました。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザ流行まだなし。

感染性胃腸炎(非ロタ)多し。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザは減少、感染性胃腸炎は横ばい、アデノウイルス、RSウイルス感染も横ばいの状態です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

相変わらず水痘が多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

胃腸かぜ多し(各年齢)

インフルエンザなし。

【南知多町 医療法人大岩医院】

感染性胃腸炎が多く、家族内感染が目立ちます。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

<1月報STDコメント>

健全な夫婦間にもこうした疾病がひそむことへの危機感を強く感じます。

【東郷町 医療法人バク諸輪診療所】

西三河地区

6 歳女 イムノカードSTストレップA(+)
6 歳女 病原大腸菌O146
8 歳男 サルモネラ腸炎O9
【豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック】
インフルエンザB型が 3 名受診されました。
いずれも名古屋、静岡と地方へ行って帰って
きた方でした。
【豊田市 田中小児科医院】
3 歳女 インフルエンザB(ワクチン接種済)
【岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院】
4 歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)
8 歳女 エルシニア
6 歳女 カンピロバクター
【岡崎市 にいのみ小児科】
2 歳女 カンピロバクター
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
20 歳男 ラピッドテストFLUAB A、B(-)
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

水痘増加
肺炎など下気道感染が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
今冬初めてのインフルエンザの患者さん 7
歳男 インフルエンザB
【刈谷市 まついこどもクリニック】
アデノ(+)の扁桃炎 1 例
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザ総検体数62 A型1例 B型3
例
【安城市 愛知県厚生連安城更生病院】
1 歳 気管支肺炎、気胸でRS(-)、インフル
エンザ(-) 入院精査中
【知立市 宮谷クリニック】
感染性胃腸炎、ムンプスが流行しています。
【三好町 三好町民病院】
水痘が散発
【西尾市 やすい小児科】
B型インフルエンザ2人
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

2 歳男アデノ扁桃炎、1 歳男ヘルペス歯肉
口内炎
【豊橋市 野村小児科】
23 歳男 インフルエンザB型です。
【豊橋市 おだかの医院】

成人でインフルエンザB陽性例散発してい
る。小児ではない。
【豊川市 豊川市民病院】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告なし

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢 1 例(推定感染地域:国内、推定感染経路:不明)
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

愛知県感染症情報

2005年第1週(平成17年1月3日～平成17年1月9日)

愛知県衛生研究所

		定点数																											
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	鳥インフルエンザ (高病原性を除く。)	インフルエンザ (高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん	
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	25	91	21	136	1,645	418	22	18	83	2	0	8	2	260	1	26	0	0	5	0	0		
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	20	68	19	106	1,168	340	22	11	64	2	0	5	1	194	1	21	0	0	5	0	0		
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	5	23	2	30	477	78		7	19			3	1	66		5							
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	3	2	5	5	36	18		2	3					2						2			
海部津島	津島	7	7	2	2	1		3		3	160	17		1	1					22		1							
尾張中部	師勝	4	4	1	1						44	2										2							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		2	1	5	82	24	2		2					8	1								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	5	14	9	8	97	50			7			3		22		3							
	江南	6	6	1	2			2	2	1	71	11	2		5				1	16		4							
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1			4	54	25	5		4					24									
	知多	7	7	2	2		1	8		46	66	11			11					29									
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		3		9	40	27	6		7	1					16		1						
	衣浦東部	11	11	2	4	1		13		5	66	38		6	11						15		3			1			
	西尾	5	5	1	2	1	1	4		1	22	19	3								7		5						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1		11		3	214	46		1	2						16		1						
	加茂	3	3		1					2	57	6	2		1						7								
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		5	2	8	54	17	1	1	5						2		1				2		
	豊川	9	8	1	2	1	9	1		6	105	28			5	1		2			7								
東三河北部	新城	2	2			1						1	1								1								

2005年第1週(平成17年1月3日～平成17年1月9日)

年齢階層 (名古屋市を除く)	R S ウイルス感染症	インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く。）	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん （成人麻しんを除く。）	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く。）	成人麻しん
計	20	68	19	106	1,168	340	22	11	64	2	0	5	1	194	1	21	0	0	5	0	0
～6ヶ月	10				9	7			5	1											
～12ヶ月	5	3	2		67	28	1		44	1				2							
0歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1歳	3	4	6	15	168	62	4	1	13					6		1					
2歳	1	4	1	14	134	58	3	1	1					13		1			1		
3歳		2	2	16	98	59	6					1		24							
4歳		4	4	14	69	61	3	1				1		30					1		
5歳		4	2	11	76	28	3	1				1	1	37		2	/	/	/	/	/
6歳	1	2	1	9	59	23		3	1					28	1		/	/	/	/	/
7歳		4		6	47	4		2				1		21			/	/	/	/	/
8歳		3	1	6	42	3		1						8			/	/	/	/	/
9歳		1		5	29	1		1						9			/	/	/	/	/
5歳～9歳	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1		
10歳～14歳		9		7	71	3	1					1		13							
15歳～19歳		1		1	38	1													1		
20歳～		/		2	261	2	1							3	/	/	/	/	/	/	/
20歳～29歳	/	7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	/	/	/
30歳～39歳	/	11	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5	/	/	/	/	/
40歳～49歳	/	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	/	/	/	/	/
50歳～59歳	/	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	/	/	/	/	/
60歳～69歳	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/
70歳～	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6	/	/	/	/	/
70歳～79歳	/	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/			
80歳以上	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/		1		